

あすばる大崎の今後の課題は

施設改善やレストランメニューの充実を図る



稲留 光晴 議員

利用者への情報提供は

稲留議員

あすばる大崎は第3セクターであるが、今後の検討課題は何か。

集客増進に努める

町長

営業を開始して今年で18年目を迎える。近年の経営状況は横ばいである。今後は、経年劣化による施設などの改修、レストランメニューの充実などを図り集客増進に努めていく。

有害鳥獣対策の費用対効果は

稲留議員

住民から寄せられた意見の集約や意見の反映は行われているか。例えばあすばる大崎の温泉施設が改修のため休業する場合、利用者は情報を知りたいはずだが、このような場合の情報提供の状況はどうなっているか。

張り紙で事前通知を行う

町長

温泉施設が改修のため休業する場合は、張り紙で事前に通知している。十分でなかったら再度点検しながら周知されるように取り組む。

まった頭数に基づいており、本町で被害の多い猿対策では、ボス猿を捕まえて群れを解体したり、

山に追い戻す方法で、あまり出てこなくなつたという実績もある。費用対効果については、先ず第一に住民の安全を守ることや農作物に被害を受けなかつた事が、投資した額に対して数字的には現れていなくても、効果という面で現れてくるのではないかと考えている。

マイクロバスの日曜運行の経費は

稲留議員

スクールバス通学で土曜日、日曜日にクラブ活動に参加している生徒数と、休日のクラブ活動の送迎による保護者への経済的負担はどのようなものがあるか。また、日曜日に部活に参加した場合のマイクロバスなどの運行経費は幾らになるか。

運行経費は約450万円

教育長

土曜日は43名が利用。日曜日は大きな大会やコンクール等を除いて、卓球部と吹奏楽部の部活が月1回程度同日に行われた場合は合計で16名参加している。また日曜日はスクールバスが運行してないため、保護者会で打合わせをして、お互いに交代したり個人で送迎している。日曜運行の経費については現行の条件で試算した場合、約450万円の経費が必要になる。

ふるさと納税のホームページ基準は

稲留議員

大崎町ふるさと納税の謝礼品としてホームページに掲載するにあたっての原則や基準がつけられているか。

基準はある

町長

ふるさと納税の謝礼品

は、原則として大崎町内で生産加工されたもの、また参加する事業者は原則として大崎町内に事業所を有する法人・個人で町税などの滞納がないことを基準としている。

製造事業所名を入れるべきでは

稲留議員

ふるさと納税の謝礼のカタログのダイジェスト版には謝礼品の下に業者名がうたつてあるため、どこで加工製造したか分かるが、ポータルサイトのチョイスのカタログには業者名がない。これは販売する大崎町としておかしい。ちゃんと入れるべきではないか。

改善できないか協議する

企画調整課長

ホームページ掲載事業者であり、作成しているトラストバンクと協議して改善できないか協議をする。